

TZ 〈ほんの窓〉

第47号(2018.1.) 一橋大学附属図書館高本善四郎氏助成図書コーナー「本の紹介」班



HQ Book Review Vol. 1

一橋大学広報誌「HQ」には、本学教員が本を1冊選び、その魅力や本にまつわるエピソードを紹介する書評記事が掲載されています。研究に関わる本だけでなく時には意外な本が紹介されており、まるで執筆者の本棚を覗いているかのような面白さがあります。

今回の展示では過去にHQに掲載された書評で紹介された本の中から第一弾として13冊を紹介します。

展示にあたり、3名の先生方よりコメントをお寄せいただきました。HQに掲載された書評、紹介された図書とあわせてお楽しみください。

HQ掲載号	ページ	執筆者 (所属は執筆当時)	書名・著者名・出版情報 (翻訳のあるものはあわせて紹介しています)	請求記号
1	56	橋本 正博 (法学研究科)	『刑事裁判を見る眼』 渡部保夫著. 岩波書店, 2002. (岩波現代文庫, 社会 ; 67)	0800:85:S/67
1	57	安田 聖 (経済研究所)	『統計調査制度とマイクロ統計の開示』 松田芳郎, 濱砂敬郎, 森博美編著. 日本評論社, 2000. (講座マイクロ統計分析 / 大屋祐雪 [ほか] 監修 ; 第1巻)	3500:88:1
2	46	御代川 貴久夫 (社会学研究科)	『リサイクル : 回るカラクリ止まる理由(わけ)』 安井至著. 日本評論社, 2003. (シリーズ地球と人間の環境を考える ; 06)	5100:863:6
2	47	三浦 玲一 (言語社会研究科)	『地図にない国からのシュート : サッカー・パレスチナ代表の闘い』 今拓海著. 岩波書店, 2003.	7800:1326
4	54	大杉 高司 (社会学研究科)	『文化アイデンティティの行方 : 一橋大学言語社会研究科国際シンポジウムの記録』 恒川邦夫 [ほか] 編著. 彩流社, 2004.	3610:2221
5	58	福田 泰雄 (経済学研究科)	『巨大企業が民主主義を滅ぼす』 ノリーナ・ハーツ著 ; 鈴木淑美訳. 早川書房, 2003.	3355:267
6	54	佐藤 正広 (経済研究所)	『科学の方法』 中谷宇吉郎著. 岩波書店, 1958. (岩波新書 ; 青-313,G50)	0800:33:青313
13	49	筒井 泉雄 (商学研究科)	『ヒマワリはなぜ東を向くか : 植物の不思議な生活』 瀧本敦著. 中央公論社, 1986. (中公新書 ; 798)	0800:25:798
13	49	筒井 泉雄 (商学研究科)	『ギリシア神話と英雄伝説』 T.ブルフィンチ [著] ; 佐渡谷重信訳. 上,下. : 講談社, 1995-1995. (講談社学術文庫 ; [1166]-[1167])	(上)0800:34:1166 (下)0800:34:1167
13	49	筒井 泉雄 (商学研究科)	『盗まれた手紙』 エドガー・アラン・ポー [著] ; 富士川義之訳 ; J・L・ボルヘス編纂 / 序文. 国書刊行会, 1989. (バベルの図書館 / J.L.ボルヘス編 ; 11)	9300:321
13	49	筒井 泉雄 (商学研究科)	A study in scarlet ; The valley of fear / by A. Conan Doyle. Doran, 1930. (The Crowborough edition of the works of Sir Arthur Conan Doyle / by A. Conan Doyle ; v. 15)	214:156:15
13	49	筒井 泉雄 (商学研究科)	『緋色の研究』 中野康司, 高田寛訳. 東京図書, 1982. (シャーロック・ホームズ全集 / コナン・ドイル著 ; W.S.ベアリング=グールド解説・注 ; 第3巻)	9380:13:3
13	49	筒井 泉雄 (商学研究科)	『理科系の作文技術』 木下是雄著. 中央公論社, 1981. (中公新書 ; 624)	0800:25:624

HQ (最新号・バックナンバー) は一橋大学Webサイトよりご覧いただけます。

<http://www.hit-u.ac.jp/hq/index.html>

『刑事裁判を見る眼』 渡部保夫著

最高裁判所の発表によると、2017年9月までに裁判員に選任された人の数は、5万9千人近くにのぼるということです。一般市民が刑事裁判に関わる制度も定着してきたといえるかもしれません。しかし、だからといって事件に関わる人々の抱える切実な問題が軽くなるわけではない。人を処罰するという重い判断をするためには、正義や被告人・被害者への共感と同時に、リアリストの冷静かつ理性的な眼が求められるはず。 「よりよい」刑事裁判の実現のために、実際に判断に携わる人だけでなく多くの人が問題点を認識しておく必要があります。本書は、今なお、その好適な素材を提供してくれると思います。

(橋本正博 / 法学研究科教授)



請求記号

0800:85:S/67

『科学の方法』 中谷宇吉郎著

中谷宇吉郎（なかや・うきちろう）は、寺田寅彦門下の低温物理学者であり、随筆家としても有名です。世界で初めて人工雪の形成に成功したこと、また『冬の華』『太陽は東から出る』などの随筆でも知られています。物理学者としての有名な格言として、「雪は天から送られた手紙である」という言葉を残しています。

『科学の方法』で、中谷は、物理学の「法則」は、それぞれ1回限りの現象に対する観察を繰り返して、その結果得られたデータの集合に対して最もうまくあてはまるように組み立てた説明原理であり、一般に考えられているように宇宙が「物理学の法則にしたがって」動いているのではないということを強調しています。この主張は、人文・社会科学を学ぶ私たちに対しても、本質的な問題を投げ掛けているのではないのでしょうか。

(佐藤正広 / 経済研究所教授)



請求記号

0800:33:青313

『ヒマワリはなぜ東を向くか：植物の不思議な生活』 瀧本敦著

世の中には様々な出会いがあります。科学との出会いもその一つで、出会い方も千差万別です。概ね青少年たちは物心ついた時から、書誌や画像の中で疑似科学を体験し獲得しています。疑似科学自身は頭蓋の中の神経伝達回路に棲む幽霊にすぎませんが、幽霊の成り立ち方を件の方法論による幾何かの演繹と実証実験で解明・具現化し『知』を創出すれば、幽霊は真理や実存となります。本書で言及され、ヒマワリが東を向くことを実験で確かめた少年（わが恩師）は、高校時代「ヒマワリは本当に日に向かって廻るのか」を教師に尋ね、「キミ見てみんなか？」と、方法論の適用を示唆され幽霊の具現化に邁進しています。自ら解答を得る為の『科学の創出過程』への出会いを教えてくれる一冊です。

(筒井泉雄 / 商学研究科教授)



請求記号

0800:25:798